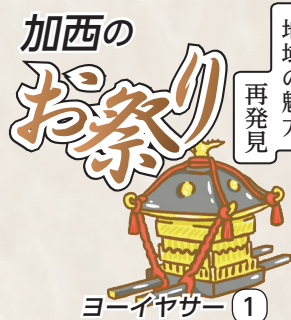


地域の魅力  
再発見



今月号からスタートした「加西のお祭り Yoiyasai」。市内では各地でさまざまな祭りが行われています。昔から続く伝統的なものも多く、地区ごとに違った特色があります。

第1回は、昨年11月に古法華石仏御開帳50周年記念式典が行われた、「古法華石仏祭り」を紹介します。

西長町にある古法華寺で昨年11月23日、古法華石仏御開帳50周年記念式典と秋の石仏祭りが行われました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、3年遅れで記念式典を開催。子どもの健やかな成長を願う稚児行列が行われた後、多聞寺方丈による法要が始まり、国重要文化財で日本最古級の石仏「石造浮彫如来及び両脇侍像」が姿を見せると、訪れた住民や参拝者は手を合せ、感慨深い様子で見

## コロナ乗り越え 最古級の石仏「御開帳」

守りました。

収蔵庫を管理する古法華保存会の高見勉会長（両月町）は「古法華寺に参拝してよかったと安堵感を与えられるよう、管理している八町が責任を持って今後も協力していきたい」と話しました。

石造浮彫如来及び両脇侍像は「古法華石仏」と通称され、西長・東長・大村・牛居・岸呂・両月・戸田井・王子の八町共有で管理しています。

白鳳時代に造られた日本では最古級の石仏です。昭和30年から奈良国立博物館に収められていま

たが、地元の熱望によって、昭和46年に古法華の地に戻され、今は

収蔵庫に祀られ大切に保管されています。昭和36年に国重要文化財に指定。

材質は凝灰岩、石の色は明るい茶色で、板石の高さが約105センチ、幅約70センチ、奥行約22センチ、屋根の部分は高さ約50センチ、幅125センチ、中尊如来像の左右に脇侍が配されています。

祭りは、昭和54年から始まり、

春と秋の年2回開催されています。春は、地元の中高中生等による巫女の阿弥陀如来様のお通しがあ



春には無病息災・家内安全を願う護摩供養が行われる

り、無病息災・家内安全を祈願しての護摩供養が山伏によって執り行われます。

古法華寺周辺には、これまで石彫体験に参加した人たちの作品、約300体の石仏が安置されています。秋には、その年に製作した石仏の入魂式が行われ、また、無病息災を願う大根炊き（中風除け）が振舞われます。

「日本最古級の石仏と伝統の祭りを守り、次世代に繋げていく。それが私の使命」高見会長は、その言葉に思いを込め微笑みました。



収蔵庫に保管されている日本最古の石仏。春と秋祭りに御開帳される  
①屋根②中尊如来像③左脇侍（向かって右）④右脇侍（向かって左）

# 秋空の下 華やかに50周年

KASAI データバンク R5.11.30 現在（前月比）

人口 / 41,980人 (-7) 男 / 20,592人 (-26) 女 / 21,388人 (19) 世帯数 / 18,520 (15)

11月の出生数 / 17人 死亡数 / 46人 ● 1/10、24は市民課・国保医療課窓口を延長 (17:15～19:00)

● 加西市の市外局番は0790です。誌面では省略しています。

● 加西市 HP <https://www.city.kasai.hyogo.jp>

発行 / 加西市 〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地 ☎0790②1110(代)

編集 / 総務部秘書課 ☎0790④8701 fax0790④0291

パンチ穴を開けられる場合はこちらを中心に合わせてください



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。